

第11回 人文知コレギウム

一般の方の
聴講歓迎・
事前申し込み
不要・無料

人と人、
人と社会

2018年12月5日（水） 13:30-15:30
富山大学人文学部 3階第6講義室

韓国のLGBTコミュニティをとりまく現状－プライド・イベントの現場から見えてくるもの－

林 夏生(国際関係論) 13:30～14:30

韓国の「クィア文化祝祭」は、LGBTなどの性的少数者の権利擁護を指すイベントとして2000年から毎年開催されてきたが、2014年頃から「反対派」による激しい妨害にも遭遇しはじめた。その現場から見えてくる現状と変化について、フィールドワークの成果や日本との比較等を交え、紹介・検討する。

アメリカにおける福祉政策と市民の境界線－生殖をめぐるポリティクス－

小野直子(国際文化論) 14:30～15:30

現在日本では、旧優生保護法下で強制不妊手術が実施された問題が注目を集めている。しかし、強制不妊手術が法制化されたのは日本だけではなく。本発表では強制不妊化政策において先駆的役割を果たしたアメリカ合衆国に焦点を当て、その思想と実態を福祉政策との関連から考察する。